

# ふたがた

2024  
9月

第98号



## Contents

- P 2.....施設長挨拶  
生活支援第一部（おおくら園）
- P 3.....生活支援第二部（かまくら園）  
医療支援部
- P 4.....生活支援第三部（とがくら園）  
リハビリテーション支援部
- P 5.....生活支援第四部（はちくら園）  
日中活動支援係
- P 6.....まつくらセンター・食事サービス課  
地域移行推進係・  
ホームページのご案内

### 【写真の説明】

たくさん収穫！/日中活動	綺麗なさくらと/おおくら	お外でのんびり~/はちくら
	頑張ってます！/リハビリ	
せっせとお仕事/まつくら	ほかほかでにっこり/とがくら	七夕飾りとパジャリ/かまくら

社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会  
障害者支援施設 宮城県船形の郷

<https://fukushi.miyagi-sfk.net/sato>

〒981-3625 宮城県黒川郡大和町吉田字上童子沢21

TEL 022-345-3282/FAX 022-345-3984

## ご挨拶



施設長 千葉姿奈子

秋を告げる風が心地良い季節となり、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。7月から8月にかけて、施設の一部で新型コロナウイルスの感染が広まり、一日も早い収束に向け対応を行いました。改めて、感染予防対策の継続への必要性を感じております。さて、数年に亘って施設全体の大規模な整備が進められ、3月末に建物の全てが完成し、今年度から新たな居住棟「生活支援第四部（はちくら園）」を開設しました。同時に、大崎市鹿島台から「介護研修施設宮城県介護研修センター」が当施設内に移転してきたことから、連携を図りながら事業を進めてまいります。建物・設備等のハード面においては利用者の方々にとって安心・安全な生活環境が整いましたので、今後は「個々の特性に応じたさらに質の高いサービスの提供」というソフト面の充実を図ることが重要です。職員の専門性を高めるために、強度行動障害に関する専門研修の受講や支援体制の構築を進めています。また新設したリハビリテーション支援部では、個別の心身機能の評価に基づく機能訓練に取り組んでいます。県立施設として県全域のセンター的機能を発揮することができるよう職員一丸となって取り組んでまいりますので、これまで同様ご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 各部署の取り組み状況

### 生活支援第一部 (おおくら園)

◎入所支援と生活介護の提供

#### 【部の特色と目標】

利用者様の地域生活及び社会参加を目標に、日々支援に努めています。また、ご家族様との連携を大切にしています。毎月各ご家庭へ担当職員から近況報告を行っており、ご家族様の意見等を伺いながら、支援に反映しています。

#### ☆お花見会

工事が終わりの柵が撤去され、郷に咲く桜も一望できるようにになりました。気持ちを新たに、利用者様と観桜をしました。綺麗な桜の下で皆様それぞれ季節を感じる会となりました。



#### ☆ブラッシング指導講習

利用者様の正しい口腔ケア、職員の知識、技術向上の一環として、橋高歯科医師から指導を受けました。



#### ☆自立訓練室体験利用

生活支援第一部には、地域での生活に向けての訓練や体験を行う「自立訓練室」があります。地域での生活を想定し、各利用者様のペースに合わせた訓練を行っています。



#### ☆日中活動

所属班ごとに利用者様に合った活動を提供しています。その中でも、特にドライブ活動が人気で、バスから眺める風景を楽しんでいます。



#### ☆お弁当の日・自治会活動

お弁当の日はメニュー選びからドキドキです。注文されたお弁当は目を輝かせながら美味しくいただきました。自治会活動では利用者様からのご要望を聴きとり、生活の中で反映させていただいています。



生活支援第二部  
**(かまくら園)**

◎入所支援と生活介護の提供

【部の特色と目標】

行動障害や自閉的傾向のある利用者様の意思尊重、尊厳を重視したサービスを提供し、能力に応じて自立した日常生活を営むことを目標としています。社会体験外出や行事を通して、潤いのある生活を送っていただけるよう取り組んでいます。

☆**構造化支援に向けて**  
構造化とは「視覚的・具体的・物理的に、分かりやすく環境を整理する」ことです。  
利用者様それぞれに適した構造化支援を行うため、「強度行動障害支援者養成研修」を多くの職員が受講し、支援のスキルアップに努めています。

ある利用者様の日課です。イラストを用い、予定を視覚的に理解できる支援を行っています。



ペットボトルの仕分け作業に取り組んでいる様子です。物理的な構造化として集中できる環境を作ること、安心して作業が行えています。

☆**門出を祝う会**

6月の生活支援第四部（はちくら園）開所に伴い、11人の利用者様が部の移動をされています。これまで一緒に過ごした日々を振り返りながら別れを惜しましました。



☆**七夕会**

7月 係ごとに七夕会を開催しています。利用者様それぞれが短冊に願い事を書いたり、笹への飾り付けなどを行っています。



☆**日中活動**

所内散策や中庭でボールを使った軽運動やお菓子作り、パズルなど、さまざまな活動を行っています。



☆**社会体験外出**

毎週末に、ドライブとコンビニエンスストアへの買い物外出を実施しています。他にも利用者様の要望に合わせて衣料店への外出やふるさと訪問なども行っています。



医療支援部 ワンポイント健康講座

「**良い仕事は、良い睡眠から**」

睡眠は心身の健康を維持するための重要な要素の一つです。質の高い睡眠は創造性・集中力・判断力を向上させる鍵となります。  
睡眠を十分に取ることで、内分泌機能が向上し、代謝活動促進やストレスの耐性が強まります。睡眠には脳を休ませ、自律神経を整える働きがあります。ストレスを感じたり不安な気持ちが続いたときには、ぐっすり眠ることでストレスやうつ症状を緩和軽減することが期待できます。



睡眠不足は生活習慣の乱れを招く一因です。不規則な生活習慣を続けていると、数年後に生活習慣病を発症するリスクが高くなります。  
効果的な睡眠をとるためには、規則正しい生活が大切です。ブルーライトは、睡眠を促すホルモンの生成を抑制してしまうため、寝る前のスマホやタブレットの使用は控えましょう。寝つきを良くするために就寝2〜3時間前に入浴が効果的です。また、寝室の理想的な温度は16〜26度、湿度は50〜60%です。  
仕事で良い成果を上げられるよう、質の高い睡眠を心掛けましょう。

